

若手後継者育成事業を実施します。
住宅リフォーム等促進事業を継続して実施し、中小建築業者の支援と空き家対策としての地域環境の改善とともに、町内商工業の振興を図ります。

町単独のプレミアム付き商品券については、20%のプレミアムを付け発行し、町内における購買力の向上を目指します。

企業誘致活動については、「農村地域への産業の導入の促進等に関する法律」に基づく水川町導入実施計画について県知事の同意を得るとともに専任職員を配置して積極的に企業誘致活動を展開します。

道の駅竜北、竜北公園、まちつくり酒屋、立神峡公園、秋山幸二ギャラリーは相互に連携をとりながらその活用を図ることとします。特に、まちつくり酒屋については、民間事業者の公募を行い、その有効活用を図ります。

水川まつり、梨マラソン大会、道の駅ウォーキング大会、いちご杯キッズサッカー大会など、各種

障がい者総合支援法に基づくさまざまな支援事業を実施するとともに、就労支援などの自立支援にも取り組んでいきます。
特に、いきいきサロン事業については、全地区で開催されていますが、高齢者のみならず地域の各年代層の方々が関わりを持てる機会をつくり、地域ぐるみで高齢者を見守る環境づくりを進めていきます。

新規事業として、乳児等通園支援事業を実施するとともに、保育所等におけるICT化推進事業に取組み、保育士等の業務負担軽減を図ります。

また、地域福祉計画および組織改革計画をふまえ、町社会福祉協議会と民間施設と役割分担を図り、水川町に適した社会福祉協議会独自の地域で支える介護・福祉の環境づくりを進めていきます。

イベントについても参加者増加への工夫を行うとともに、町外からの交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。

2 地域でいきいきと暮らせる保健福祉のまちづくり

生活の安定を支える健康づくりの視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進と医療費の抑制を図るため、保健予防、健診事業及び健康相談、保健指導、食生活改善指導を積極的に推進します。



令和7年度に実施した「ひかわの学び舎」

3 人を育む魅力ある教育の振興

令和8年度から国が実施する小学校給食費完全無償化に合わせて、中学校の給食費も町独自で無償化します。

新規事業として、中学校部活動地域移行に伴う休日の地域クラブ活動支援事業により、指導者が担う体制を整備します。

児童館建設事業については、補助金申請並びに寄附採納手続きを進め、財源の確保に目途がつきましたら予算を計上してまいります。文化センター内に設置した教育支援センターの活用により、不登校児童生徒の学校復帰を支援します。

中学校の英語検定受験事業を継続し、実用英語技能検定費用の全部または一部を助成し、英語に対する学習意欲の向上を図ります。小中学校に導入したICT機器の更新を行うとともに、ICT

そのための、人間ドック受診費用、各種がん検診費用、各種予防接種費用の助成を継続して実施します。

高齢者等福祉タクシー利用料金助成事業を継続し、交通手段が乏しい高齢者や障がいのある皆さまを支援してまいります。

病児・病後児保育が八代北部地域医療センターを事業主体として実施されていますので、今後も運営や財政支援を行います。

八代市・郡医師会と連携して設置した「八代地域在宅医療・介護連携支援センター」を核として、地域包括ケアシステム構築を図ります。

水川町介護保険事業計画に基づき、対象者個々のニーズに応じた適切な介護保険サービスを提供します。

継続事業として、3歳未満児の保育料の無償化及びおむつ代やミルク代などの子育てに係る経済的負担を軽減するための「物価高騰対策子育て応援券」の支給、家事や育児に不安を抱える妊婦や家庭

支援員を配置し、学習支援を行うことで学力向上を図ります。

継続して、教職員OBを指導主事として配置し、教職員の授業力向上及び学級運営、生徒指導への指導助言とともに、本町教育の特色であるコミュニティ・スクール色であるコミュニティ・スクールの取組及び地域ぐるみで学校運営を支援する地域学校支援本部事業を推進してまいります。



コミュニティ・スクールおよび地域学校支援本部事業の取り組み（竜中マーケット）

幼児期における質の高い保育・教育を支援するためのこども・子育て支援事業計画及び新次世代育成支援対策行動計画に基づき、すべてのこどもと子育て家庭が安

に向けて「子育て世帯訪問支援事業」を実施します。

子育て・定住促進対策として、現在の高校生までの医療費無料化、すこやか赤ちゃん出産祝金支給事業を継続して実施します。また、昨年設置したこども家庭センターを子育て支援の拠点に、こどもの育ちを多角的に支える仕組みを行います。



子育て支援センターの利用者が増えています

高齢者及び障がい者福祉対策としては、いきいきサロン事業、食の自立支援事業、通所型介護サービス事業、高齢者及び障がい者住宅改造助成事業の継続をはじめ、

心・安全かつ健康に暮らせる町を目指します。

八火図書館も多くの皆様にご利用いただいておりますが、学校図書館との連携をはかりながら図書館活動を推進してまいります。

小学校部活動が社会体育に移行して8年が経過しました。今後も円滑に活動が図られるよう、指導者の育成等の支援を継続します。

また、八代郡スポーツ協会と水川町スポーツ協会が一元化されましたので、水川町文化協会とともに組織の強化と会員の増加を目指して、相互連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行います。

4 魅力ある暮らしやすいまちづくり

昨年8月豪雨により被災した道路・河川の災害復旧事業を最優先に取り組んでいきます。

地球環境への負荷軽減による自然と共生するまちづくりを目指し